

■現在、当院には6名のカウンセラーがいます。

星野紀子、立花有子、興津祥子、義達理絵、粒良知加、伊藤智美

■年齢、経歴、資格は様々ですが、全員、高橋和巳医師の指導を受けて、心の深いレベルでのカウンセリングができると認定されたカウンセラーです（風の木クリニック認定カウンセラー）。

■現在も必要に応じて高橋医師のスーパーヴィジョンを受けてカウンセリングを実施しています。

■下記に記載した自己紹介文を参考にカウンセラーを選んで相談ください。

カウンセラー名の右にあるメールアドレスをクリックするとカウンセラーにつながり、予約の問い合わせができます。

■以下の自己紹介文の掲載は年齢順になっています。

星野紀子 1958 生	mailto:counseling1@kazenoki.jp
毎週火曜・第2/4土曜	
<p>◆カール・ロジャーズを出立点に「傾聴」を学び・実習し心理カウンセラーの資格を取得しました。その後高橋医師に出会いスーパーヴィジョンを受けながら（「目から鱗」の衝撃を今でも鮮明に覚えています）、「エンカウンターグループのファシリテーター」「NPO 法人カウンセリング相談室責任者」「市役所 ころの相談員」「ビフレンダーズ夜間の電話相談」「ドキュメンタリー映画の自主上映会を仲間と共に実施」等を経て、クリニックの受付として勤務、風の木の認定カウンセラーになりました。◆そんな私が多くの方と出会う中で、「人って、人生って変わる」そして「言葉は魂から発せられ、それがお互いに呼応・シンクロした時に共に大きな喜びや感動となり、これからの人生を進んで行く」このように感じる事が有りました。その感動は、私にとってかけがいのない宝物となっています。◆心は動いています。心は語りかけています。そしてあなた自身があなたの心に触れるのを、静かに心は待っています。そのお手伝いをさせていただきます。◆どうぞ宜しくお願い致します。</p>	

立花有子 1967 生	mailto:counseling12@kazenoki.jp
毎週水曜	
<p>◆東洋英和女学院大学大学院人間科学研究科人間科学専攻修士課程修了の時に『「心理的ネグレクト』という不適切な養育環境で育った被虐待者の心理状態についての研究—「心理的ネグレクト』チェックリスト作成の試み—』という論文をまとめました。心理的ネグレクトに関心があり、当クリニックのスタッフから認定カウンセラーとなりました。◆近い人の死を経験してから、人はなぜ生まれ、生き、そしてやがて死んでいくのかという人間存在の探究をしてきました。◆いまは成長した2人の子どもの母ですが、子育てに自信がありませんでした。けれど自分自身の心を深く見つめていくことで、自分の中にある気持ちに気づいていきました。すると現実の世界も変わっていくようになりました。◆「自己自身に優しくなりなさい。あなたは木々や星々と同じ宇宙の子である。あなたにはここに居る権利がある…」と続く詩が、私は大好きです。自分自身に優しくなると、人にも優しくなれるような気がしませんか。1人きりで考えていると、同じところをぐるぐる回ってしまいます。人と話すことで気持ちが流れていきます。◆生きづらさを感じたり、緊張や不安をつよく抱えたり、親との関係や子育てに悩んでいらっしゃる方などご相談ください。丁寧に話を伺います。</p>	

興津祥子 1974 生	mailto:counseling4@kazenoki.jp
第4月曜	
<p>◆公認心理師・精神保健福祉士・産業カウンセラー◆慶應義塾大学総合政策学部卒業。同大学院在学中より、主婦の社会復帰を支援するネットワークを立ち上げ、再就職支援に携わりました。産業分野での研修や面接相談等に従事する中で、より“個人”の心を深く理解することや家族関係の重要性を痛感し、カウンセラーを目指しました。◆精神科病院のソーシャルワーカー（デイケア・認知症病棟）、福祉事務所の精神保健福祉支援員を経て、2017年にコスモスバード・カウンセリングを開設。風の木クリニックでは2015年より開業後も並行して、カウンセラーをつとめております。プライベートでは観劇を趣味としています。◆ご相談最初の入口となる内容は幅広く承っていますが、悩みをひも解くにつれ、本質は家族・親子関係にたどりつく方を多く担当してきました。カウンセリングを通じて自分を知り、人生の“文脈”が変わることで、自由に生きる可能性を広げられると感じています。◆ぜひ、お話をうかがわせてください。</p>	

義達理絵 1987 生	mailto:counseling11@kazenoki.jp
第3月曜・第1/3土曜	
<p>◆東京学芸大学大学院教育学研究科学校心理専攻臨床心理コースを修了後、療育機関や精神科クリニックでの勤務を経て、練馬区子ども家庭支援センターで11年間の相談業務を行ってきました。同センター退職後に当クリニックのカウンセラーとなりました。◆臨床心理士、公認心理師。◆これまで、子どもの育てづらさ、発達障害、不登校、思春期の対応など子育てに関する相談のほか、実の両親や義実家、配偶者とのやりとりの難しさなど、家族に関する相談も受けてきました。どんな問題であっても相談の中で「自分と相手」をより深く理解することで、気持ちは楽になっていきます。◆家族や友人、職場での関係など、つながりの中で人は悩みを抱えます。課題が整理されていなくても構いません。「恵まれた環境にいるのに、どうしてうまくいかないのだろう」そんなご相談でも、話すことで見えてくるものがあります。今抱えているその不安がどこから来るのか、一緒に整理していきましょう。</p>	

■以下の2名のカウンセラーはオンライン (Zoom) 専用です。

粒良知加 1978 生	mailto:counseling3@kazenoki.jp
水曜日	
<p>◆臨床心理士・公認心理師◆立教大学文学部心理学科（当時）卒業後、上場企業に就職。主婦を経て大学院へ。修了後は主に医療分野の心理職として単科精神科・クリニック等にて勤務しました。2021年より宇都宮市内にてArc心理オフィスを開業し、おおよそ年間延べ1000セッションを行っています。◆理論背景は、高橋医師の提唱する『見立て8型』および『傾聴技法』に加えて、精神分析（対象関係論）的理論を学んでいます。◆いくつかの治療を経ているも、症状が遷延化していたり反復的に繰り返す方との出会いが多くなっています。ご自分とじっくり向き合いたい方、その必要があると感じられる方はどうぞご連絡をいただければと思います。また大きな不調はなくても自分の人生に不全感があり、より良い生き方を模索してみたいという方も歓迎いたします。Zoomセッションのため遠方の方もお気軽にお問い合わせください。◆趣味はインドの伝統的文化を学び、体験することです。</p>	

伊藤智美 1984 生	mailto:counseling6@kazenoki.jp
月・水曜日の午前中	
<p>◆お茶の水女子大学大学院発達臨床心理学コース博士前期課程を修了した後、船橋市子育て支援センターで10年、千葉市保健センターで5年の勤務を経て、当クリニックカウンセラーとなりました。臨床心理士、公認心理師の資格を持っています。プライベートでは3人の子どもの母として、子育てに奮闘中の毎日です。◆これまで、不登校・かんしゃく・子どもの発達・抜毛症や小児自慰、育児不安等の子育てに関する相談を受けてきました。また、漠然とした不安や敏感さ、生きづらさを抱えた方、親との関係に悩む方の相談も受けてきました。◆人の心は正しく理解されると、安心してより自由に動くようになります。心が変わっていくと行動も自然と変わっていき、結果として、今抱えている悩みがなくなっていくと思います。◆誰かに自分の心の内を話すことはとても勇気のいることです。感じてはいけない気持ちはありません。丁寧に話を聴かせていただきます。ぜひ、ご相談ください。</p>	